



志村学園

令和7年2月3日
東京都立志村学園
校長 並木信治
高等部就業技術科
第10号

継続は力なり

副校長 加部 務

立春を迎え、寒さの中にも春の気配を感じる季節となりました。新たな季節の訪れにふさわしい話題として、先日、サッカー部が全国大会で見事優勝を果たしたことを御報告いたします。選手たちの努力と粘り強さが実を結び、すばらしい結果を手にすることができました。ここに至るまでには、決して楽な道ではなく、いくつもの困難に直面したことでしょう。まさに、「継続は力なり」という志村学園の校訓が体现された結果であり、この選手たちの姿勢が学校全体に大きな感動と活力を与えてくれました。

さて、今年度も残すところあと2か月となりました。3年生は、もうすぐ卒業を迎えるにあたり、社会人として新たな一歩を踏み出す準備が着実に進んでいます。先日行われた、「総合的な探求の時間」の学習では、卒業後の社会生活への期待が含まれたとても素晴らしい内容のプレゼン発表を見ることができました。自分の考えをしっかりと表現する姿に成長とたくましさを感じました。今月末に実施される成果発表会にも期待が高まります。これまでの学びを生かし、さらに成長していくことを期待しています。2年生は、長崎への修学旅行を無事に終えることができました。この経験を通じて得たものをこれからの学校生活に生かしてください。旅行先で見たこと、感じたことが、きっと今後の学びに役立ちます。1年生は、系列選択を前に自分の進路について深く考える時期となりました。入学時に抱いた思いを忘れずに、そして、自分の可能性を信じて、さらに成長することを楽しみにしています。

保護者の皆様、地域の皆様には、日々の御支援、御協力に心より感謝申し上げます。今後も、「継続は力なり」の校訓のもと、生徒が一步一步前進し続けていけるよう、教職員一同、教育活動の一層の充実に努めてまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

書初め会

国語科 茶木 浩美

新年最初の登校日、1月8日（水）に毎年恒例の書初め会を実施いたしました。

1年生は「自立の道」、2年生は「希望の光」、3年生は「継続は力」、それぞれのお手本に向き合い、自分と向き合い丁寧に慎重に、集中して筆を進めていました。

今年度も大東文化大学より4名の講師の先生方をお招きして御指導いただきました。先生方の具体的で分かりやすい説明を聞き、流麗な筆さばきを目の当たりにしてより一層、良い作品にしようと意欲的に取り組む生徒の姿が見られました。

令和7年、新しい年の新たな気持ちがかもる素晴らしい作品の数々が仕上がりました。生徒が書き上げた作品はクラスで掲示した後、御家庭に持ち帰ります。ぜひ、心のこもった作品を御家庭じっくり御覧ください。



長崎への修学旅行

修学旅行担当 小林 恵利

就業技術科2年生は、1月22日（水）から24日（金）の2泊3日で長崎へ修学旅行に行ってきました。1日目は、ハウステンボスでグループ別行動とイルミネーション見学を行いました。生徒たちは様々なアトラクションを体験し、楽しんでいました。イルミネーションは園内全体の幻想的な光が素敵な思い出となりました。

2日目は、長崎市内のクラス別行動でした。晴天に恵まれ、チェックポイントの出島、グラバー園、眼鏡橋等を巡り、長崎の歴史や文化に触れることができました。旧正月(春節)である29日から始まるランタンフェスティバルの準備中の長崎市内はランタンで街中が彩られ華やかな雰囲気でした。

3日目は、平和学習として長崎平和ガイドの説明を聞きながら平和公園、被爆遺構、原爆資料館を見学後、被爆者体験講話を拝聴しました。事前学習で作成した千羽鶴を講話者の方に寄贈し、平和への願いを被爆地に届けることができました

生徒たちは、平和学習を通じて戦争や核兵器について深く考え、長崎の地で多くのことを体験的に学び、仲間とのコミュニケーションを大切にしながら自律的に行動することもできました。学年で決めたスローガン「Nagasaki's History ～皆と共に最高の思い出を～」を掲げ、高校生活の思い出の1ページができました。今後は、これらの体験や楽しかった思い出を胸に、学校生活をより一層充実したものにしていきましょう。



フレッシュマンズ講座

学年進路担当 高橋 郁裕

第3学年では、社会人として必要なさまざまな知識やマナーを身に付けるために、「フレッシュマンズ講座」を授業で行っています。卒業後の4月から新社会人として良いスタートを切るために、これまでに、ストレスへの対処法を学ぶ「レジリエンス」、スーツの選び方や着こなし方を学ぶ「ビジネススーツについて」、通勤寮やグループホームについて学ぶ「通勤寮について」の3つの講座をそれぞれ講師の方をお招きして授業を行いました。1月に行われた「ビジネススーツについて」では、株式会社コナカ様より講師の先生を2名お招きしました。ビジネスマナーに関する話を分かりやすく教えていただいたことで仕事をする上で必要な心構えや学校で身に付けておいた方が良いこと、漠然としていた卒業後の生活を具体的にイメージすることができました。各クラスから選ばれた生徒がスーツを実際に試着し、着こなしをレクチャーしていただく貴重な機会ともなりました。卒業までにあと3回予定されており、卒業に向けて必要な知識を数多く身に付けて、すてきな社会人になってほしいと願っています。



第10回全国知的障がい特別支援学校高等部サッカー選手権大会 優勝

サッカー部顧問 出野 裕也

令和7年1月25・26（土日）に静岡県藤枝市藤枝総合公園サッカー場で第10回全国知的特別支援学校高等部サッカー選手権大会が開催されました。本校は前回大会で惜しくも関東予選で敗れ、出場権を逃しましたが、今大会では王座奪還を目標にチーム一丸となって戦いました。「走れ、戦え、日本一になる覚悟をもって」というコンセプトのもと、試合に出る選手、サポートメンバー、スタッフがそれぞれの役割を果たしてくれました。

グループリーグ初戦では、岐阜県立可茂特別支援学校と対戦しました。初戦の緊張感もあり、思うように攻撃できない時間もありましたが、2年土屋さんがこぼれ球を予測し、素晴らしいシュートを決めて1-0と勝利しました。2戦目は、兵庫県立西神戸高等特別支援学校と対戦しました。序盤に相手の勢いのある攻撃を受けましたが、キャプテン3年志村さんを中心とした粘り強い守備で守り切り、後半14分に2年荻野さんが待望の先制点となるシュートを決めて1-0で勝利しました。この結果、グループリーグ1位が決定し、準決勝に駒を進めました。

準決勝は、前回大会の優勝チーム愛知県立豊田高等特別支援学校との対戦となりました。良いリズムで攻撃を展開しましたが、得点を奪えないまま0-0でPK戦に突入しました。PK戦では、3年今井さんが最初のキッカーとして冷静にシュートを決めて流れを掴むと4人目までのキッカー全員が冷静にシュートを決め、4-2で勝利となりました。

決勝は関東勢同士の対決となり、千葉県立特別支援学校流山高等学園と対戦。前半14分に3年三浦勉さんがミドルシュートを決め先制点、更に前半23分に3年中村勤翔さんが追加点を奪い前半を2-0で折り返しました。後半も守りに入ることなく、3年大久保さんも途中出場して全員がハードワークを続け、2-0で試合終了のホイッスルを聞きました。この瞬間に、これまでの取り組みがすべて報われました。

当日は、多くの保護者の方や御家族、先生たちの応援があり、選手達に熱いエールをいただきました。また、速報を気にしながら静岡へ熱い思いを届け続けてくれた方もたくさんいらしたと聞いています。サッカー部を応援して下さった全ての方に感謝いたします。応援ありがとうございました。

グループリーグ結果

	1可茂特支	2志村学園	3西神戸高等	得失点	総得点	順位
1可茂特支		0-0 0-1	1-1 0-2	-3	1	3
2志村学園	0-0 1-0		0-0 1-0	2	2	1
3西神戸高等	1-1 2-0	0-0 0-1		1	3	2

